

郷の集い

行 会
A 員
T 任
P 者
校 久
郷 崎
級 編
新 山
学 久
印 刷
野 印 刷 (株)

待望の体育館建築進む

今年の夏から着工となった新郷校体育館は、順調に工事が進んでおり、来年二月末の完成が待たれます。パイル打ちの音が新郷校下に響きわたった時は、新郷区民待望の校舎が建つことを、町内に、いや、郡内に知らしめているようで、感激でした。

収獲の頃、オレンジ色の鉄骨組みを眼のあたりにして、思いのほか大きいのに驚きました。現在の校舎が側にあるためか、秋空の中ひととき大きく見えたものです。

三国から車で西今市町のころまで来ると、建築中の体育館が正面に見えてきます。今までは通り過ぎて気にもとめられなかった校舎が、もうじき、地区の象徴としてよみがえることでしょう。

ところで、次年度の校舎建築を話し合う中で、校庭

校庭の

松の木の由来

今から約百年程前中ノ浜に新郷簡易科小学校があり

ました。所が明治二十五年西今市両校を合併して一大校舎を建築しました。当時は、この地方一帯を新宮郷と呼んでいたのです。その名をとって新しく出来た学校を新郷小学校と名づけました。

学校は、田園地帯のまん中に建てられ、校舎の廻りには樹木一本もなく全く殺風景でした。

それを嘆いた校下の一村民がある嵐の夜三本の松を校庭に植えました。

松は年中常緑の高木で樹令が非常に長く日本人の生活の中で正月の門松として密着し芸術面では「マツ」と「タカ」が配されるなど葉の緑と幹の逞しさは自然を愛する日本人の心と生活の中に深くとけこみ数多くの樹木の中でその首木として逞しく成長する松のように新郷小学校を巣立つ子供達

が社会の荒波の中で逞しく成長してほしいという願いがこめられ植えられました。

しかし、その当時はまだ身分制度の厳しい時代です。あの人が植えた松ならば切ってしまうとせっかく学校環境に潤いを与え子供の成長に願いをこめて植えた松が切り倒されては大変です。

それでわざわざ雨の降る嵐の夜に誰れにも知られず

そっと植えられた松だそうです。校下の人達は、この三本の松が学校を思い、新郷に育った子供達の将来を願って植えられた、奇特な方の行為を称えて、だれ呼ぶとということなく「陰徳の松」と呼ぶようになり大切に育てられました。

松の木が植えられ「陰徳の松」と呼ばれて約九十年数多くの子供達に見守れ幾多の風雪に耐えて成長して来ました。

ある時はこの学校に遊ぶ遊び友達の木登りの場となり、ある時は、涼しい木陰で疲を癒す憩の場となり、ある時は、グラウンドに万国旗を張る中心となり、またある時は、卒業記念撮影のバックの働きとなり長い新郷小学校の歴史と共に成長し、数多くの児童がこの「陰徳の松」の恩恵に浴して卒業して行きました。

初め三本植えられた「陰徳の松」でしたが、長い年月の間に体育館、校舎等の建築で切り倒され今は、まん中のたった一本が大地にしっかりと根をはり大空に大きく伸びています。

九十年の長い歴史の中でたった一本残っている「陰徳の松」をいつまでも大切にしたいものです。

中ノ浜 小島利雄氏口述

矢尾昭三記

矢尾昭三記



(いつも新郷の子どもたちを見守ってきた校庭の松の木)

の松の木をどうするかという問題が出てきました。切り倒すにしても、移植するにしてもやっかいです。これだけ大きな松の木です。何かいわれがあるので、矢尾校長先生がお調べになって、次の様な文にまとめられました。

郷の集い

発行 新郷 P T A
 校級 委員 会
 編集 責任者
 山崎 久満
 印刷 刷
 久野 印刷 (株)

待望の体育館建築進む

今年の夏から着工となった新郷校体育館は、順調に工事が進んでおり、来年二月末の完成が待たれます。パイル打ちの音が新郷校下に響きわたった時は、新郷区民待望の校舎が建つことを、町内に、いや、郡内に知らしめているようで、感激でした。

収獲の頃、オレンジ色の鉄骨組みを眼のあたりにして、思いのほか大きいのに驚きました。現在の校舎が側にあるためか、秋空の中ひととき大きく見えたものです。

三国から車で西今市のところまで来ると、建築中の体育館が正面に見えてきます。今までは通り過ぎて気にもとめられなかった学校が、もうじき、地区の象徴としてよみがえることでしょう。

ところで、次年度の校舎建築を話し合う中で、校庭

の松の木をどうするかという問題が出てきました。

切り倒すにしても、移植するにしてもやっかいです。これだけ大きな松の木です。何かいわれがあるので、矢尾校長先生がお調べになって、次の様な文にまとめられました。



(いつも新郷の子どもたちを見守ってきた校庭の松の木)

校庭の

松の木の由来

今から約百年程前中ノ浜に新郷簡易科小学校があり

ました。所が明治二十五年新小学校令が実施され新郷西今市両校を合併して一大校舎を建築しました。当時は、この地方一帯を新郷と呼んでいたのです。その名をとって新しく出来た学校を新郷小学校と名づけました。

学校は、田園地帯のまん中に建てられ、校舎の廻りには樹木一本もなく全く殺風景でした。

それを嘆いた校下の一村民がある嵐の夜三本の松を校庭に植えました。

松は年中常緑の高木で樹令が非常に長く日本人の生活の中で正月の門松として密着し芸術面では「マツ」と「タカ」が配されるなど葉の緑と幹の逞しさは自然を愛する日本人の心と生活の中に深くとけこみ数多くの樹木の中でその首木として逞しく成長する松のように新郷小学校を巣立つ子供達が社会の荒波の中で逞しく成長してほしいという願いがこめられ植えられました。

しかし、その当時はまだ身分制度の厳しい時代です。あの人が植えた松ならば切ってしまうとせっかく学校環境に潤いを与え子供の成長に願いをこめて植えた松が切り倒されては大変です。

それでわざわざ雨の降る嵐の夜に誰れにも知られず

そっと植えられた松だそうです。

校下の人達は、この三本の松が学校を思い、新郷に育った子供達の将来を願って植えられた、奇特な方の行為を称えて、だれ呼ぶということなく「陰徳の松」と呼ぶようになり大切に育てられました。

松の木が植えられ「陰徳の松」と呼ばれて約九十年数多くの子供達に見守れ幾多の風雪に耐えて成長して来ました。

ある時はこの学校に遊ぶ遊び友達の木登りの場となり、ある時は、涼しい木陰で疲を癒す憩の場となり、ある時は、グラウンドに万国旗を張る中心となり、またある時は、卒業記念撮影のバックの働きとなり長い新郷小学校の歴史と共に成長し、数多くの児童がこの「陰徳の松」の恩恵に浴して卒業して行きました。

初め三本植えられた「陰徳の松」でしたが、長い年月の間に体育館、校舎等の建築で切り倒され今は、まん中のたった一本が大地にしっかりと根をはり大空に大きく伸びています。

九十年の長い歴史の中でたった一本残っている「陰徳の松」をいつまでも大切にしたいものです。

中ノ浜 小島利雄氏口述
 矢尾昭三記

ああ奥飛驒慕情

西正 五太夫

今回初めて研修旅行に参加させていただき、先生方及び御父兄の方々と親睦を深めさせていただけた事を幸いに思います。

おかげで好天にも恵まれ多数の参加者があり、皆様方も車中において、子供達の学校生活等話し合ったり、いろいろ思い出深いひと時を過ごされた事と思います。飛驒高山旅行につきましては、北アルプス乗鞍岳の美しい山と川の自然、格子造り、神社仏閣が昔ながらに残る城下町。素朴な人情が今も古い町並に日本の美しい心のふるさととして、残されていると思います。

はげしい現代社会のうつりかわりの中で、自然の美しさが旅情を満喫させてくれた事でしょう。

次回からの研修旅行には特別にお父さん方の参加を希望します。

岡田靖子

好天に恵まれた七月四日の日曜日、今年の研修旅行の目的地飛驒の里、高山市へと向かいました。「奥飛驒慕情」などを口ずさみながら、なごやかなうちに高山市へ到着し、合掌造りの

PTA研修旅行

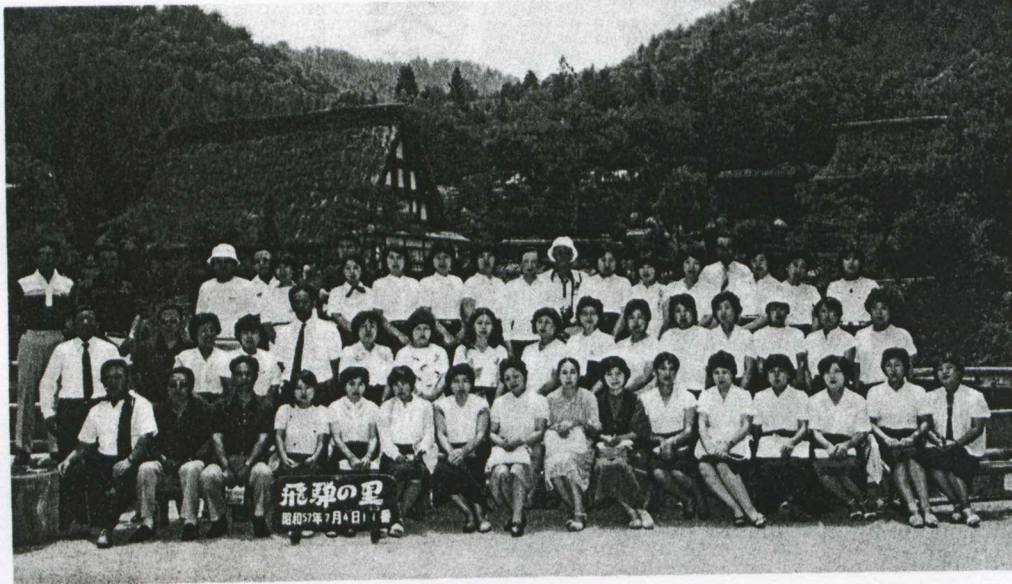
民家や、屋台会館などを見学しました。元祿の昔、奥深い高山の地で飛驒の匠たちが心血をそそいで創り上げたであろう伝統工芸の数にふれ、その心いきとエ

ネルギーが数百年を至た今も、いきいきと私達の心に伝わって来る様で大変圧倒されました。帰りには子供達への土産ものなど買いたが静かなたたずまいの高山市内を散策しました。一思い返しますと、高校在学中の長女が幼稚園に入園して以来、私の研修旅行の参加も今年で十二回を数えます。ある時は名勝地へ、ある時は宝塚観劇、サイクリング、学校視察と目的の地は異なりますが、先生方とPTA会員の相互の親睦を図り一層の校下の発展を願うという目的は常に一つでありました。

それぞれの職場で多忙な日々を過ごされている方々ばかりですが、これからも年一回の研修旅行が続けて挙行されます様にお願ひ致します。

男性会員

私は、新郷小学校のPTAの研修旅行に初めて参加させていただきました。



飛驒路をたずねて

バスに揺られて大野、九頭竜峠を経て、飛驒高山へと向いました。高山では、屋台会館や飛驒の里を見学しましたが、特に屋台会館では、山車の作りのすばらしさには一度子供達にも見せてやりたいと思いました。

帰りのバスの中では、ゲームをしたり、歌を歌ったり、研修旅行とは堅苦しいものだと思っておりました。が、楽しい一日を過ごさせて頂きました。女性の方の参加が多数でしたが、これからは男性もなるべく多く参加される事を望みます。又機会があれば参加させていただきますたいと思えます。

思いやり重ねて

はじめの 齋藤 美喜尾

先日、孫の通っている小学校から「授業参観をしていただきますから祖父母の方はおいで下さい」という案内状をもらった。初めての経験なので驚いた。勤めを持つ親の代わりに行ったことはあるが、今回は祖父母が対象とあって、私は近所のおばあちゃんと喜んで出かけた。大勢のおばあちゃんに来ておられた。年齢の差はあったが、どの顔も明るく輝いて見えた。

うちのおじいさん

一年のさきゆつしう おばあさん

初めに授業を参観した。五年生はおじいちゃん、おばあちゃんをテーマにした作文、六年の教室では祖父母の子供のころの遊びを取り入れた授業だった。孫たちと車座になり、お手玉、まりつき、おはじき、と遊び歌を歌いながら、時間いっぱい楽しく遊びながら、孫たちは学んでいた。次は講堂で音楽の発表と祖父母への感謝の作文朗読があった。私は涙があふれた。少年の非行がとやかく騒がれる今日、こうした和やかな風景は、温かい家庭づくりにも大いに役立つのではないだろうか。

口でお年寄りを大切に、と叫ぶより、学校のこんな思いやりが地域ぐるみの平和を生み出すのではないだろうか。ただ、おじいちゃんのおじいさんは、べんきょうのわからないところや、いみがはっきりしないときなど、わかるようにせつめいしてくれませう。おじいさんは、いまよこはまにいます。かえってきたときは、にわの手いれをしたり、金ぎよの水をしかえたりします。おじいさんとおばあさんは、にわのくさをむしったりしてきれいにしてくれませう。おじいさんがびよう気でにゅういんしたときは、とてもしんぱいしたけれど、もうげん気になったのでうれいす。おじいさんも、おばあさんも、ずつとながいきしてほいす。

小さなグラウンドに 大きなきざずな秋の運動会

木内 昭夫

秋晴れの下、我が子の成長とのびのびとした姿を見ながら、楽しい一日を過ごさせていただきました。

子供達と先生と父兄が一体となって作り上げた運動会は、家族的な雰囲気の中で心暖まるものを覚え、郷の絆を更に強くした感じがします。

大勢の友達との生活の中でたくましさを養い、みんなと一緒に一つのことを協力して行うことを学び、協調性やわがままを抑えることなどを自然に身につけさせるためにも、本大会は大変有意義だったと思う。

家庭内暴力や校内暴力の問題が叫ばれている昨今、こうした親と子の心の触れ合いの場にもなる運動会を大切に、情緒豊かな創造性や表現力に富んだ子供達に育てたいと思います。尚、本大会の運営にご尽力いただきました先生方や役員の皆様には心から御礼申し上げます。

吉江 福美枝

今年から、幼稚園に入り初めて運動会に参加させてもらいました。それまでは何回となく見に行っても、ただ応援して帰るだけでした。

ところが、今年からいよいよ我が子が参加する事になり、応援をするにも自然と熱が入り、声も大きくなります。子供も、いっしょうけんめいに走ったり、フオークダンスをしたりして頑張っていました。一等にはなれなくても、二等、三等でも初めてもらった賞を

とても喜んで見せてくれました。これから、小学校に入ってから、一等賞をめざして頑張りたいと思います。

山口 美枝子

今から二十数年前に、私はなれなくても、二等、三等でも初めてもらった賞を



新校舎完成予想図(体育館左)

我が子が入学し初めての運動会。すみずみにまだ、想い出の残る校庭で、赤白色々の旗のたなびく中、ドーンというピストルの音が響きわたり、一生懸命走る子供達。早い遅いは別として、小さな体で一生懸命になっている我が子の顔を見て、思わず「がんばれっ」と、さけんでしまう私でした。

私の心も子供と一緒に校庭を走りまわっている一日でした。きっと、どここの親達も、こんな気持ちだったことと思います。

それから、最近、自己中心的な人間の多い中、上級生のお姉ちゃん達が、大変よく面倒見てくれるので親近感が強く、そんな上級生を見て育つ我が子は幸せ者であり、人生において貴重な体験であると信じます。

斉藤 修二

秋の最大イベント、運動会が今年も快晴に恵まれ老人の日の九月十五日華やかに開かれました。稲刈りの忙しき時期と重なったにもかかわらず、校下のPTAもこぞって参加し、例年のようにいつもと変わらぬ児童生徒、先生と一体になり大会を盛り上げてくれました。子供達も夏休み中のソフトボール、フットベイスボール、水泳などの各大会めざしての練習に明け暮れ、それらの大会が終わると同時に始めた運動会の

第一回新郷区民 体育祭に思う

齋藤 豊

「天高く馬肥ゆる秋」と申しますが、本当に爽やかな清々しい今日此の頃です。皆様方には、秋最後の収穫、あるいは転作の仕事へと、御忙しい毎日を御過ごしかと存じます。

昔の様に春の初めより、霜の降る十一月頃まで鋤による農業から、近年のように機械化された近代化農業へと変化してゆく中で私達の生活も変化してゆき、区民の皆様方との交流も薄らぎ、淋しい思いを致して居ました折に、体育協会より同様なる御意見が出されまして、昨年は「ソフトボール」、「バレーボール」、「卓球」、「ゲートボール」その他、それで種目別に依っては「子供」から「老人」まで、勝負は別と致しまして参加し、そして、今年「新郷地区区民体育祭」を体協、婦人部、そして、皆様方の御協力と御支援の基に行い、健康増進や区民の親睦の場を持つ事が出来ました事を、私達「一区長会」も大変喜んで居る次第です。

今年も昨年同様に、年間行事を進めてまいりましたが、今後共皆様方には尚一層の御協力と御支援を賜りますようよろしく御願致します。

郷の子は負けな

悔やし涙を ふいてー

「イクソオ」「サッコオイ」黄色い声が暗くなったグラウンドに響きわたる。今年もわが新郷の子たちは、水の中でも陸上でも素晴らしい活躍を見せてくれました。小さな校舎の小さなグラウンドで、よくもまあこれまでと感心します。ここに、子ども達のたてた記録をかけた、その健闘をたたえらるるにも御指導下さった先生方、役員の皆様に厚く御礼申し上げる次第です。

町学童水泳大会

吉井康弘

- 六年二五m自由型
 - 一位 堂島正弘 一六・四
 - 一位 小嶋裕子 一六・一
 - 二位 齊藤直子 一七・八
- 六年二五m平泳ぎ
 - 二位 小嶋裕子 二四・三
 - 六年二五m背泳ぎ
 - 一位 堂島正弘 二〇・五
- 町新記録
 - 一位 齊藤直子 二一・一
- 六年五〇m自由型
 - 一位 堂島正弘 三九・七
 - 一位 小嶋裕子 三八・三
 - 二位 齊藤直子 四一・三
- 六年五〇m背泳ぎ
 - 一位 堂島正弘 四九・七
 - 一位 齊藤直子 四六・四
- 町新記録
 - 一位 齊藤直子 四六・四
- 六年一〇〇m自由型
 - 二位 堂島正弘 一・三六・六
 - 一位 齊藤直子 一・三七・三
 - 二位 小嶋裕子 一・四三・二
- 六年一〇〇m平泳ぎ
 - 三位 藤山英徳 二・三三・七
- 五年一〇〇mリレー
 - 三位 中道和也 一・三三・五
 - 二位 竜田佳幸
 - 一位 吉江雅樹



表彰式の間中、じつと下を向いて、悔やし涙をかみしめている女の子たちに、どんななぐさめの言葉が通じるでしょうか。フットベイスポール大会二年連続優勝ということにおごらず、これまで以上の厳しい練習で、試合に臨んだあなたたち。今年の次勝は、過去二

回の優勝よりも価値があるはず。本当によくがんばりました。男子のソフトも敗れはしましたが、暗くなるまでやった練習は思い出に残ることでしょう。両チームの監督をお願いした北川恒夫氏、高戸善右門氏に心よりお礼申し上げます。

郡小学校水泳記録会 (57・8・11)

- 六年五〇m自由型
 - 三位 小嶋裕子 三六・三
 - 二年二〇〇m自由型
 - 二位 小嶋裕子 一・三一・五
 - 四位 齊藤直子 一・三三・九
 - 六年五〇m背泳ぎ
 - 四位 堂島正弘 三七・七
 - 四位 齊藤直子 四六・一

第十九回 町新記録

- 四年一〇〇m走
 - 二位 北嶋夕子 一六・九
- 五年走り高跳び
 - 一位 竜田佳幸 一m9
- 五年ボール投げ
 - 一位 黒田紀子 29m98
- 六年走り高跳び
 - 二位 坪田良尚 1m15
 - 二位 齊藤直子 1m17
- 六年女子持久走(六〇〇m)
 - 六位 齊藤尚代 二・二三・三

大会次勝

- 銅賞 五年 竜田 佳幸
- 銀賞 二年 野内 道雄
- 三年 新郷ゆき子
- 六年 青木 美穂

▼町子ども会壁新聞

- 入選(河間、河友新聞)
 - 藤山 英徳・吉江 真人
 - 川越 光枝・吉江 由美
 - 青木 美穂

▼町社明運動(習字の部)

- 入選 四年 北嶋 夕子

▼郡理科作品コンクール (植物採集)

- 五年 高政かおり
- 六年 齊藤 陽
- 六年 齊藤 直子
- 堂島 正弘

▼町交通安全ポスター

- 入選(河間、河友新聞)
 - 藤山 英徳・吉江 真人
 - 川越 光枝・吉江 由美
 - 青木 美穂

▼町社明運動(習字の部)

- 入選 四年 北嶋 夕子

▼編・集・後・記

早くから原稿を書いていただいた皆様には大変失礼を致しました。会員の皆様には、発刊が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。編集は水ものといわれますが、今回もその難しさを味わった次第です。マンネリにならぬように努力はしているのですが、まだ足りないようです。次号は、工夫をこらした卒業生特集を考えています。(Z)

第十九回 町新記録

▼郡理科作品コンクール (植物採集)

- 五年 高政かおり
- 六年 齊藤 陽
- 六年 齊藤 直子
- 堂島 正弘

▼町子ども会壁新聞

- 入選(河間、河友新聞)
 - 藤山 英徳・吉江 真人
 - 川越 光枝・吉江 由美
 - 青木 美穂

▼町社明運動(習字の部)

- 入選 四年 北嶋 夕子

▼編・集・後・記

早くから原稿を書いていただいた皆様には大変失礼を致しました。会員の皆様には、発刊が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。編集は水ものといわれますが、今回もその難しさを味わった次第です。マンネリにならぬように努力はしているのですが、まだ足りないようです。次号は、工夫をこらした卒業生特集を考えています。(Z)

▼町交通安全ポスター

- 入選(河間、河友新聞)
 - 藤山 英徳・吉江 真人
 - 川越 光枝・吉江 由美
 - 青木 美穂

▼町社明運動(習字の部)

- 入選 四年 北嶋 夕子

▼編・集・後・記

早くから原稿を書いていただいた皆様には大変失礼を致しました。会員の皆様には、発刊が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。編集は水ものといわれますが、今回もその難しさを味わった次第です。マンネリにならぬように努力はしているのですが、まだ足りないようです。次号は、工夫をこらした卒業生特集を考えています。(Z)

▼町交通安全ポスター

- 入選(河間、河友新聞)
 - 藤山 英徳・吉江 真人
 - 川越 光枝・吉江 由美
 - 青木 美穂

▼町社明運動(習字の部)

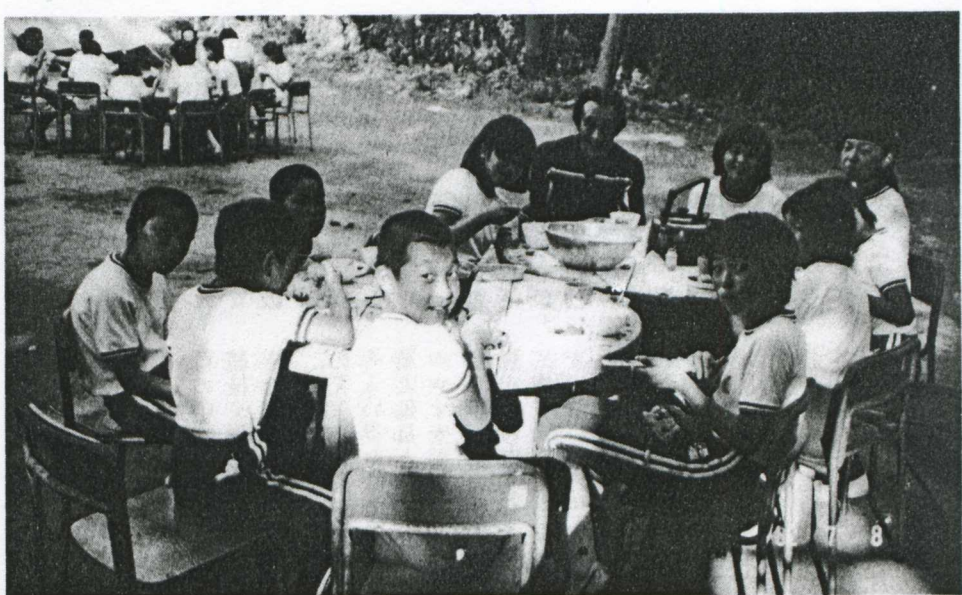
- 入選 四年 北嶋 夕子

▼編・集・後・記

早くから原稿を書いていただいた皆様には大変失礼を致しました。会員の皆様には、発刊が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。編集は水ものといわれますが、今回もその難しさを味わった次第です。マンネリにならぬように努力はしているのですが、まだ足りないようです。次号は、工夫をこらした卒業生特集を考えています。(Z)

▼町交通安全ポスター

- 入選(河間、河友新聞)
 - 藤山 英徳・吉江 真人
 - 川越 光枝・吉江 由美
 - 青木 美穂



自分たちでつくったごはん。おいしいな。(キャンプ合宿 7/9~10)

非行防止標語

- ◆ちよつと待て 進んじや だめだ 非行への道
- 五年 黒田 紀子
- ◆町ぐるみ 家族ぐるみで 非行防止
- ◆つみ取るう どんどん 見える 非行の芽
- 五年 五十嵐康浩
- ◆さそいあう かるい気持ちで 悪の道
- 五年 高政かおり
- ◆悪いさそい 君はいやだと 言えるかな
- 六年 齊藤 直子
- ◆服装・ヘア・態度から 非行の芽
- 六年 堂島 正弘
- ◆一度入ったら にげられない 悪の道
- 六年 伊藤 和美
- ◆「うちの子には」と 限りませんよいつまでも
- 六年 田畑 恵子